タイトル

テンプレートについて

このファイルは、日本哲学会公募論文『哲学』に投稿するためのWord用テンプレートです。このテンプレートにはタイトルや本文、文献表、それぞれの書式が設定されています。

テンプレートの書式

このテンプレートは、文字サイズ10.5ポイント、1行40字×40行に設定しています。フォントは、日本語：MS明朝、英数字：Centuryと設定しています。

テンプレートの使用方法

ボックス内に「題目」、「小節」、「論考本体」、「引用」、「文献表」がありますので、執筆に必要なスタイルを適宜選択してください。

注釈について

注はワードソフトの文末脚注の機能で作成してください（Microsoft Wordならば、脚注を挿入したい部分にカーソルを合わせ、「参考資料タブ」の中の「脚注の挿入」をクリックし注を作成する）。書誌情報は、文献表にまとめてください。

例

さらにこのことが物理影響説でも機会原因説でもなく予定調和説を採用する際の論証[[1]](#endnote-1)に活用される。

（文末脚注については下部を参照のこと）

文献表について

文献は、本文の後に「文献」「参考文献」などの見出しをつけた上、記載してください。

例

参考文献

Johnson, R. N, 2003, “Internal Reasons: Reply to Brady, van Roojen and Gert.”, *The Philosophical Quarterly* 53, 573-580.

日本哲学会発行，2019，『哲学69号』，知泉書館．

以上、本テンプレートの説明を終わります。

1. これらの三説に対するバウムガルテンの評価に関しては増山[2015] pp. 41–49を参照のこと。 [↑](#endnote-ref-1)